

研究機関：広島大学

| | |
|-------------|--|
| 研究課題名 | 西日本豪雨災害に伴う診療の継続性低下が医療費・入院発生・ポリファーマシーに与える影響に関する後ろ向きコホート研究 |
| 研究責任者名 | 大学院医系科学研究科 地域医療システム学講座 教授 松本 正俊 |
| 研究期間 | 実施許可日 ～ 2026年7月31日 |
| 利用開始する予定日 | 実施許可日（2019年7月22日）以降 |
| 対象者 | 2017年7月1日～2019年6月30日から対象期間内に岡山県、広島県、愛媛県の医療機関を受診した人 |
| 意義・目的 | 2018年の西日本豪雨災害により、大きな被害が発生しました。このような災害下において、被災者の受療に関する短・長期的変化を知ることは政策上重要です。また、医療ケアの一貫性（かかりつけ医機能の充実等）は海外において救急受診や入院発生を抑制することが報告されています。災害によって医療ケアの一貫性がどのように変化するか、またこの変化が医療サービスや医療費といったアウトカムにもたらす影響を明らかにすることを計画しています。 |
| 方法 | 本研究は、審査承認後に厚生労働省の管理する National database より情報の提供を受け調査する予定です。提供を受ける情報は、被災の有無・性・年齢・受診医療機関種別（病院/診療所）・通院区分（通院/訪問診療）・医療費負担割合・医療費・入院の発生・入院期間・内服薬剤です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません） |
| 共同研究機関 | 該当なし |
| 試料・情報の管理責任者 | 該当なし |
| 個人情報の保護について | 本研究において取得し分析するデータは全て研究対象者識別コードにより対象者を識別できないように個人情報を加工がされた上で厚生労働省の審査後に提供を受ける為、研究者が個人情報を扱うことはございません。したがって研究者が患者個人を特定することはありません。また、対象者の方の個人情報が漏れることもありません。研究者はどの個人が研究対象者となっているか判断できないため、研究対象者の申し出により該当するデータを研究から除外することはできません。研究結果は個人が特定できない形式で学術誌、学会等で発表されます。 |
| 問合せ・苦情等の窓口 | 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5894 広島大学病院総合内科・総合診療科 助教 吉田 秀平 |